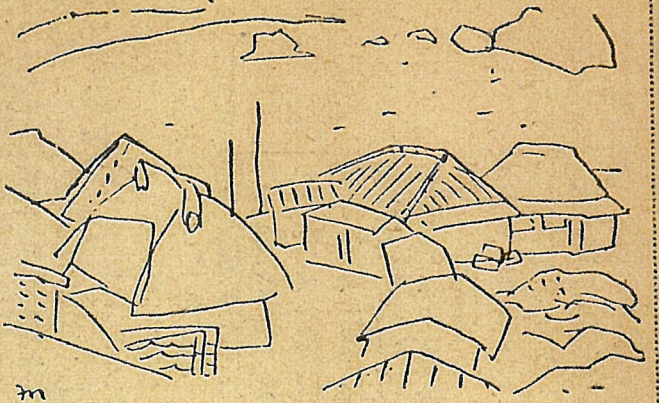


看護婦と保健婦のために



カット 加藤正信

民衆の健康を守る者

これは大学課程として看護婦保健婦の幹部を養成している本学科の第三回生が本年十月にはじめて学問課程にはいつたとき、その学科主任として学生に語ったことの内容である。日本の医療保健態勢に対する改善計画を含んでいるから、この紙面をかりて大方の識者の御批判に訴えたいと思う。

東京大学医学部衛生看護学科学科主任 福田邦三

14 福田邦三
看護婦と保健婦のために
民衆の健康を守る者
薬石日報 昭和31年10月31日 1956

われわれは今日からこの小石川校舎で学問課程の授業をはじめ。私はすでに教養学部に行つた医学概論の授業の際に、幾度か折にふれてわれわれの学科の使命について語つたが、この機会にもう一度まとめて述べておきたいと思う。

われわれの行つて居ることは民衆の健康をまもるに於いて、今の日本に欠けているものを補おうとするものである。それでは一体何が欠けているか。

患者に対する愛情

病院の外來患者、入院患者に対して病院側から充分の愛情が示されて居るだろうか。多くの病院でこの点について改善の余地があるように思う。健康体でも日本の世の中は浮世の苦勞が多いのに、まして病院になると、直接病氣との戦ひのほかに、病氣が原因となつて起きた生活の苦しみまでが加わりうれいなき日夜を送つて居るのが患者の身の上である。

患者は医師にすがらる氣持で居るだけなく、誰かに粗大となく心配を語り、悩みを打ち明け、それに対して慰めを得、解決が示され力が与えられんことを願望して居る。この願望をみたしてあげるのも医師と看護婦との役目である。しかも事柄の性質上、多くの場合看護婦の引受ける比重の方が大きい。

目をして居るとはいえない。単に医師の治療の介助をして居るに過ぎない。

看護婦の知識

明治以来の旧日本の方式では看護婦は医師の手足となつて患者の治療の手伝をする者ということになつて居るらしい。それだけのことならば旧制度の養成法でもまた現在の進歩した看護婦養成方式でも間に合うかもしれない。しかしそれだけでは進歩した学術の恩恵を十分に患者に提供することができない。

医師の診断、治療、看護婦に対する指針を完全に理解し、患者にとつて必要な適切な看護処置を自ら企画、遂行する能力は、当学科が行つて居るような教育によつて始めて確保される。

もう一つ旧制度の下に養成された看護婦の中にも資質のすぐれた人は、実務の現場に於て知識をピツクアップするといふ、最も本格的な発達を遂げたけれども、他の学術分野に於けると同様、これを育て本筋の教育組織とするのは出来ない。

今後の臨床看護婦の幹部として患者看護の責任をもつ者は、医学、衛生学、心理学等の近代科学を大学程度に於て学習し、かつ看護の技術に習熟していなければならぬ。そしてその指揮によつて進看護婦、補助員、病棟婦等がはじめてよく能力を発揮するようになる。

公衆衛生看護

外国で公衆衛生看護といつて居るのは民衆に対する保健活動を公の手で行うもので、ある。日本でもこのような保健活動が大いに行われては居るが、大学卒業の保健活動専門家（ヘルス・ワーカー）を得て更に強く推進しなければならぬ。公衆衛生看護婦のことを日本では保健婦といふ。保健婦は保健所や市町村役場などに配属されている。そのサービス内容は健康についての民衆の一人一人の相談相手になることである。健康上のトラブルをもつて居る人は世の中に沢山ある。愛情と知識と思想をもつて、悩める人の友となる保健婦の任務は社会において重要である。もちろん本人が知らないで居る病氣を見つけては診断治療の為に医師へ行かせ居る。このような保健婦活動は直接家庭を訪問して健康上の安否を見舞ひ、健康指導をするといふ保健訪問者（ヘルス・ウィジター）の形でも行われる。

農村婦人の疲勞を予防するには台所の設計ばかりでなく、日常生活の設計そのものに対しても反省検討が必要である。環境衛生や食品衛生、母子衛生、幼児の発達、学童の習慣矯正など課題は広い。決して病氣があるかないだけの問題ではない。実際、農村では保健婦は新しい村づくりの二つの重要な鍵に相当して居る。

同じことが都会の低所得階層についても言える。むかしスクタリの傷病兵に注がれたナイチンゲールの愛情が、諸君によつて、日本の生活苦にあえぎ健康上の危険にさらされて居る人たちに注がれなければならない。

の生活苦にあえき健康上の危険にさらされている人たちに注がなければならない。

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 保健婦の必要知識

保健婦は健康に関して民衆をはぐむ母としての性格をもっているのであるから、衛生学の充分の知識をもつていなければならない。医学についても、疑診をつけるだけの疾病の知識、医師のする治療を理解し、解説し、患者を安心させ医師に対する信頼を確保するといふような意味で医師と民衆との間のよきあつせん者でなければならない。

「直接健康問題はかりでなく人的及び社会的環境条件を正しく理解し評価するためには、心理学や実証的社会学についても心得ていなければならない。」

かようにして保健婦が必要とする知識はどうしても正規の大学教育で授けらるべきものだと考へる。現在諸所の保健婦養成所で保健婦が養成されているが、それはいづゆる養成教育であつて、保健所に於ける定められた保健婦の業務が善悪なく遂行できるようにする教育である。諸君の場合には大学教育であるから、それだけでは足りない。やがて直接、民衆の必要を看取して、解決方法を研究し適切な業務規定を自分で案出すること

とができる様に、底力つまり伸びゆく力を培つて卒業してほしいのである。

また上に述べた様に指導的保健婦は環境衛生の改善や衛生教育についても充分の力量をもつていなければならない。

要するに指導的保健婦とは種々の保健活動の能力を兼ね具えた保健活動家(ヘルス・ワーカー)でなければならない。各自特に掘り下げた研究分野を持ち、やがてその方面の権威となることが望ましい。

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 本学科の授業

衛生看護学科の一般教育、外国語、体育については正規大学の課程として文科、理科と同様であり殊に内容的に理科二類と一致していることは諸君の既によく知る所である。その専門課程は次のものを含む。①基礎医学②臨床医学③衛生学④看護学(狭義)

上記の各方面はいずれも臨床看護及び公衆衛生看護のために必要な学問内容であるから、全体を看護学といふべきであり、また同じ意味を保健学と呼ぶこともできるが、一、二、三の各項はすでに医

学及び衛生学の名称で取まどめられ体系化されている部分であるから、便宜上そのような分類を用いたものである。衛生学という中にはもちろん公衆衛生学を含んでいる。これらの既に研究が掘り下げられて来た知識のほかに、臨床看護及び公衆衛生看護の実際における種々の研究課題、またわかつていない問題がある。それが一括されて狭義の看護学の中にはいつている。

上記のいずれの方面も実習を含み、また臨床的なことと公衆衛生的なことをなるべく統合的に組み合わせ授業するようにしている。

諸君は机の前に正座して講義をきいたり書物を読むことが学問をすることだと思つてはならない。真理を現実の世界から捕えようとする、適切な方法を實際のフィールドに於て確立しようとするのが本学の学問である。人の講義、書物の記述は参考となり、指針となるにしても、真実といふものは実証から生まれるのである。諸君がこの道に今日から足を踏み入れたことを、こゝに私は心をこめて祝福するものである。